

【参考資料】科学作品の充実に向けて

岐阜県教育委員会

■次の視点で作品を見直してみましょう。

	動 機
1	疑問や自然に対する感動が動機となっており、その動機を分かりやすく書いている。

	目 的
1	研究の目的が焦点化されており、研究の見通しが明確になっているとともに、それぞれの研究過程における観察や実験などを、筋道を追って位置付けている。

	過 程
1	仮説を立て、その検証に必要な観察、実験の方法を洗い出して検討し、最適で必要な方法を選択しながら探究している。
2	条件統一や対照実験を綿密に計画した観察、実験を行い、一般化するために必要なデータを集めている。
3	得られたデータは文章記録の他に表やグラフなどを用い、表し方を工夫して、適切な方法で処理している。
4	観察、実験に誤りはないか、根拠の不明なところはないか、より効果的な方法はないかなどと振り返っている。
5	得られた結果を基に仮説が正しいかどうかを吟味して判断し、矛盾や飛躍のない結論を導いている。
6	予想通りの結果にならない時には計画を立て直して取り組んだり、追究過程で新たに生まれた疑問・問題についてもさらに追究したりするなど、粘り強く取り組んでいる。

	ま と め
1	研究の目的に対して、何が、どのように明らかになったのか、筋道を立ててまとめている。
2	どこに未解決の問題点が残されているかについても明らかにし、次の研究への新しい芽をもっている。

科学作品に取り組んでいるときや、作品完成後の見直しの際にこの資料を活用してください。

